

## 第9回奈良保育学院表現発表会への御案内

厳しい暑さも去り、漸く秋の訪れを感じる季節となりました。

皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

今年もまた、非常勤講師として勤務いたしております奈良保育学院の表現作品発表会が、下記の通りもたれます。お忙しい時期とは存じますが、おいで頂き、アドバイス、コメントなどお聞かせ頂ければ大変うれしく大きな励みとなります。

さて、奈良保育学院での私の大きな取り組みである“子どものための動きによる表現作品”発表会も28回目を迎えようとしています。奈良百年会館ホールでの発表は9回目となります。ここで今日の発表会へ至る経過を、少し記してみたいと思います。

28年前、私の授業「表現」では、その最終日に7-10人を1グループとして絵本を題材にした動きによる表現発表会を幼稚園遊戯室にて行いました。「親指姫」「ちびくろさんぼ」…など、学院では初めての全員の学生による作品でした。小さな、短い作品でしたが、学生たちのユニークなアイデア溢れる力作ばかりでした。

当時の学院長奥村晋先生、主任である森田由躬江先生そして非常勤として来られていた奈良女子大付属幼稚園副園長大橋和子先生は授業の学生を引率して見学・鑑賞に来てくださいました。その折、奥村学院長が学園祭でのステージ発表を勧めてくださいったのです。このことが現在のホールでの華やかな舞台発表へと繋がっています。

授業以外に、朝は7時から夜は8時まで残って学生と一緒に創作、練習したものでした。現在の教頭である下清水先生らは、私たち全員が下校するまで学院に残ってくださいました。また、当時非常勤でいらした美術担当の岩城先生にはその専門分野からたくさんアドバイスをいただき、作品創作へのご協力を頂戴いたしました。

その後、学院における表現分野の重点化により、この発表会は教室から体育館へ、そして現在の奈良百年会館での発表という形へ移ってきました。現在は、1回生も舞台発表を行っていますが、初期のころは2回生のみでの発表でもありました。

この28年間の“動きの表現発表会作品”を通して、私の子どもの感性と想像力に関する考え方を示し、学生の感性と保育力を育ててきたつもりでおります。

“子どもの夢の世界を舞台の上を実現しよう。  
幼いころに夢見た時間を再現しよう。”

と、学生に呼びかけて28年。

発表会を目指して練習を重ねる時期、今年もまた、学生は悪戦苦闘しています。本番ではきっとダイナミックな夢の広がる時間を繰り広げてくれると信じています。今年の大きな目標は、いかに客席の子どもをも取り込んで作品を作り上げていくかということです。何とか今までの殻を破って新しい道を見つけないかという気持ちからです。

2回生は、来春にはこの学び舎を巣立って行きます。卒業後、この作品創りでの様々な経験が保育現場における活動に大きく寄与できることを強く願っています。また、この活動が現1回生へのよき目標となることを期待している私です。

是非ともお出でいただきたくご案内申し上げます・

(増原担当作品はⅡ回生です)

日時 2012年12月14日(金)

午前の部 10時開場、10時30分開演〔1回生作品発表、

**Ⅱ回生A組作品発表 11時頃**〕

午後の部 13時開演(Ⅰ回生作品発表、

**Ⅱ回生B組作品発表 13時30分頃**)

場所 奈良百年会館 中ホール(JR奈良駅 西側 徒歩1分)

作品 Ⅱ回生A組——すてきな3にんぐみ

Ⅱ回生B組——ピノキオ

2012年10月15日

奈良保育学院 非常勤講師 増原喜代

問い合わせ先、nobuyomasuhara(at)gmail.com

※(at)を@に置き換えてください。